

みずほCustomer Desk Report 2019/02/15 号(As of 2019/02/14)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.99
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.94	1.1265	124.98	1.2854	0.7092
SYD-NY High	111.13	1.1310	125.44	1.2877	0.7131
SYD-NY Low	110.41	1.1248	124.75	1.2773	0.7072
NY 5:00 PM	110.41	1.1296	124.79	1.2800	0.7106
NY DOW	25,439.39	▲ 103.88	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,426.96	6.58	日本10年債	-0.0200	▲1.00bp
S&P	2,745.73	▲ 7.30	米国2年債	2.4946	▲4.11bp
日経平均	21,139.71	▲ 4.77	米国5年債	2.4721	▲5.55bp
TOPIX	1,589.81	0.48	米国10年債	2.6545	▲5.39bp
シカゴ日経先物	21,000.00	▲ 105.00	独10年債	0.1020	▲2.00bp
ロンドンFT	7,197.01	6.17	英10年債	1.1480	▲3.35bp
DAX	11,089.79	▲ 77.43	豪10年債	2.1330	▲1.10bp
ハンセン指数	28,432.05	▲ 65.54	USDJPY 1M Vol	5.82	▲0.23%
上海総合	2,719.70	▲ 1.37	USDJPY 3M Vol	6.56	▲0.08%
NY金	1,313.90	▲ 1.20	USDJPY 6M Vol	7.28	▲0.03%
WTI	54.41	0.51	USDJPY 1M 25RR	-0.91	Yen Call Over
CRB指数	178.72	0.01	EURJPY 3M Vol	7.17	▲0.14%
ドルインデックス	97.02	▲ 0.11	EURJPY 6M Vol	7.95	▲0.02%

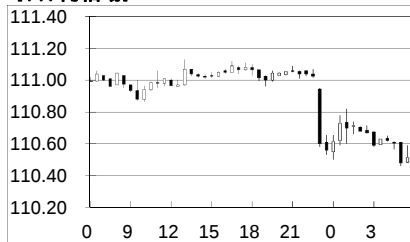
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)/(年率/季調済/前期比)・速報	4Q 0.3%/1.4%	0.4%/1.4%
	12:02	輸出/輸入(前年比)	1月 9.1%/-1.5%	-3.3%/-10.2%
	12:02	貿易収支	1月 \$39.16b	\$34.30b
	16:00	GDP(前期比)・速報	4Q 0.0%	0.1%
	19:00	GDP(前期比/前年比)・速報	4Q 0.2%/1.2%	0.2%/1.2%
	22:30	PPI(前月比/前年比)	1月 -0.1%/2.0%	0.1%/2.1%
	22:30	新規失業保険申請件数	- 239k	225k
	22:30	小売売上高速報(前月比)	12月 -1.2%	0.1%

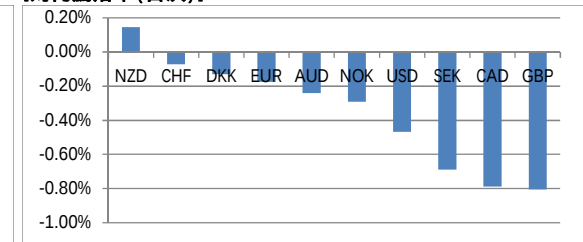
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月15日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	1月 1.9%/0.3%	1.9%/0.9%
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 0.2%/3.2%	-1.3%/2.6%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月 7.0	3.9
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 0.1%	0.3%
2月16日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 93.5	91.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.1200-1.1350	124.50-125.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、下落。米12月小売売上高が市場予想に反して9年ぶりの大幅減少となったことを受けて米国経済に対する懸念が意識された。FRBによる利上げ停止も裏付けられる結果となりドル円は下落した。本日のドル円は底堅い展開を予想する。米小売売上高の減速は一時的なものの見方もあり、米中貿易協議への期待が高まる中、ドル円は底堅いであろう。ただ、週明け米国休日であるため様子見姿勢も強く狭いレンジでの推移となりそう。

東京	朝方に本邦第4Q・GDPの結果が発表されるも、概ね市場予想通りの結果となりドル円の反応は限定的。東京時間のドル円は110.94レベルでオープンした後、日経平均株価の軟調推移等を背景に110.87まで下落。その後は下げ止まり111.00を挟んでもみ合い推移が続いたが、「トランプ大統領が中国製品への関税引き上げ期限の60日延長を検討している」と報じられると、一時111.13まで上昇。その後も111円台での底堅い推移が続き、111.05レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.05レベルでオープン。米中貿易交渉への期待や、独第4Q・GDPの予想対比下振れがドルを下支えし、111円を挟んで底堅い値動き、111.04レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2868レベルでオープン。朝方は1.2877まで買われるも、弱い英経済指標が続いているためか、終日上値の重い展開。一時は1.2798まで売られ、1.2810レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブルリ - 00531 444 179 北原)
ニューヨーク	ドル円は111.04レベルでNYオープン。朝方発表の米12月小売売上高が大幅に予想を下回ったことや、米新規失業保険申請件数が予想を上回ったことから、ドル売りが強まり110.50まで下落する。その後、110.82まで戻すが、米金利が低水準で推移する中、上値が重く110円台半ばまで反落する。午後は米共和党のマコネル上院院内総務が「トランプ大統領は予算案に署名するが、壁建設費用確保のため、非常事態を宣言する方針だ」と述べる中、110.50近辺で振幅。終盤に安値110.41をつけ、そのままだ110.41レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1266でNYオープン。朝方は米経済指標が予想よりも弱い内容だったことからドルが売られ、高値1.1310まで上昇。しかし、欧州景気の後退懸念が再び意識されたためか、ユーロの戻り売りに圧迫され1.1269まで反落。米株がマイナスイ圏で推移し、米金利の戻りが鈍い中、再びドル売りが強まる中、1.1302をつけ、1.1296レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:玉井・森谷